

授業 科目名	【 G 】	教養演習 I・II K	区 分	開講年次	【 G 】2	単位数	【 G 】2+2	
	【 H 】	教養演習 I・II K			【 H 】2		【 H 】 2+2	
	【 I 】	教養演習 I・II K	選 択 必 修		【 I 】2		【 I 】2+2	
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	オムニバス							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	ケーススタディでキミを変革せよ				担当者	野呂一郎		
授業概要	【概要】	ケーススタディとは、アメリカのビジネススクール（経営大学院）で確立された経営学の勉強法なんだ。ケースと呼ばれる、企業のリアルストーリーを題材に、どうして経営者はそう考えたのか、その意思決定が正しかったのか、他のいい方法がなかったのかなどを、ディスカッション（討論）とグループワークで考える。最後にはグループで発表する。自分で調べ、チームメンバーと意見を交わし、最後にグループの考えをまとめる。こうした一連の作業を通じ、キミの主体性、自由な心、時には妥協して他者に合わせる、わがままをあえて通す、などの柔軟性と積極性に満ちたマインドセット（こころのありかた）を構築できるはずだ。合言葉は「自由」だ。						
	【到達目標】	教師にやらされてはいけない。そんなものを卒業して、自分の道を創るんだ。それが少しでもできれば、目標はクリアってことだ。						
履修条件	経営学科目全般と深く関わるので、関連科目をなるべく多く取ることを奨励する							
アクティブ ラーニング の方法	【 - 】	事前学習型	【 - 】	反転授業	【 - 】	調査学習	【 - 】	フィールドワーク
	【 - 】	双方向アンケート	【 ○ 】	グループワーク	【 - 】	対話・議論型授業	【 - 】	ロールプレイ
	【 - 】	プレゼンテーション	【 - 】	模擬授業	【 - 】	PBL	【 - 】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP（ディプロマ・ポリシー）①	-（当てはまらない）						
	DP（ディプロマ・ポリシー）②	◎（よく当てはまる）						
	DP（ディプロマ・ポリシー）③	◎（よく当てはまる）						
	DP（ディプロマ・ポリシー）④	-（当てはまらない）						
他科目との 関連性	特にないが、経営学関連科目をなるべく多くとっておくと、この講義が理解しやすい							
教科書	清和大学 紀要 第24号 Case Study; Omokawa Timber Company							
参考書	「ナウエコノミー -新・グローバル経済とは何か-」（学文社 野呂一郎）野呂がこれまで1800記事を書いてきた、野呂noteを教科書にする。 https://note.com/noroichiro/n/nc7b43611e0ca							
評価方法	平常点(例えば課題提出やレポートなど)(90%)、受講意欲・態度(10%)で評価する							
フィードバック 方法	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など、評価不能の場合には「F」とする。							
評価基準	いかにクリエイティブであるか							

授 業 科目名	【 G 】	教養演習 I ・ II K	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2+2
	【 H 】	教養演習 I ・ II K	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2+2
	【 I 】	教養演習 I ・ II K			【 I 】 2		【 I 】 2+2
授業内容	<p>まずケース・スタディの紹介や理論を説明し、その後、実践を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケース・スタディとは何か 前編 2. ケース・スタディとは何か 後編 3. ケース・スタディ 実践(重川材木店)1調査 4. ケース・スタディ 実践(重川材木店)2グループワーク 5. ケース・スタディ 実践(重川材木店)3発表 6. ケース・スタディ 実践(北越工業株式会社)1調査 7. ケース・スタディ 実践(北越工業株式会社)2グループワーク 8. ケース・スタディ 実践(北越工業株式会社)3発表 <p>その他、学生が指定する企業について、野呂がケースを用意し、ケース・スタディの実践を行う。 ケース・スタディは時間がかかるため、一つのケースを何度かに分けて行う。</p>						
予習内容	<p>前もってケースを読んだり、ケースでとりあげた企業について調べてくることを課す。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<p>授業で学んだ内容について振り返り、ノートを整理する。 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>						
その他	<p>アクティブラーニング〉この科目では、たとえば以下のような方法でアクティブラーニングを実践します。 履修者同士、あるいは教師と履修者で活発なディスカッションを行い、主体的に調査を行い、グループで様々な意思決定を行う。 ※Gカリ：【Iは選択必修(A)・IIは選択必修(B)】 ※G・H・I加：【Iは選択必修(A)・IIは選択必修(B)】</p>						